**ａ．当該子会社等の概要**

・　名称、所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金を記載する。

**ｂ．金融支援を受けるに至った経緯**

**ｃ．債務の内容**

・　借入先等、債務の種類、債務の総額に対する割合を含めて記載する。

**ｄ．金融支援の内容**

**ｅ．再建計画の概要**

・　経営が困難になった原因、事業再構築計画の具体的内容（経営困難に陥った原因の除去を含む）を記載する。

・　新資本の投入による支援や債務の株式化などを含む自己資本の増強策、資産・負債・損益の今後の見通し、資金調達計画、債務弁済計画等を記載する。

**ｆ．今後の見通し**

・　当期以降の業績に与える影響の見込みを記載する。

※　本項目の事象による上場会社の当期業績への影響額と他の事象による当期業績への影響額とを合算すると、上場会社の業績に大きな影響が出ない場合には、その内容を含めて記載する。

※　当期以降の上場会社の業績に与える影響の見込額が判明していない場合も、少なくとも影響の規模・程度がわかるように記載する。

・　今後の方針等がある場合は、その内容を記載する。

**ｇ．その他投資者が会社情報を適切に理解・判断するために必要な事項**

**○（参考）当期業績予想及び前期実績**

・　参考として、上場会社が当連結会計年度に係る業績予想を公表している場合には、公表がされた直近の予想値の内容（開示の対象とする事項の決定に際して当連結会計年度に係る業績予想を新たに算出した場合には、新たな予想値の内容）及び前連結会計年度における実績を記載する。

※　子会社等における債務免除等の金融支援の発生に際して当連結会計年度に係る業績予想を新たに算出していない場合又は業績に与える影響が見込まれない場合においても、当該内容を記載する。

※　新たに算出した予想値を記載する場合において、子会社等における債務免除等の金融支援による影響以外の要素を考慮している場合には、その内容等についても、「業績予想の修正等」の適時開示を行う場合に準じて記載することが望ましい。